

南西諸島 環境文化体験プログラム

経験が育む社会の当事者の視点と自信

南西旅行開発株式会社

環境文化体験がもたらす価値

環境文化・環境文化体験とは

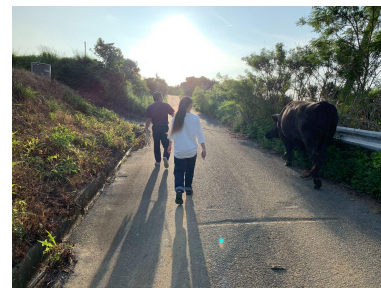
南西諸島の環境文化とは、人の暮らしが自然の手入れとなり、自然と人の持続的な関わりを成り立たせている生活文化です。環境文化体験では、現地在住の案内人のナビゲートにより、そうした暮らし方に触れる一步踏み込んだ経験を提供します。

生きた素材としての環境文化

食品ロスやマイクロプラスチック、気候危機などについて目にしない日はないというほど社会課題に関する情報は溢れています。学びの場においても学習テーマとして取り上げられることがあたり前になっています。こうした中、環境文化は、自然と人が持続可能な形で関わる営みやそれを可能にしてきた価値観を提示する生きた素材となります。

生の体験による価値

- 自分の実際の経験に基づいた視点を「体得」することで、社会課題に対する知識としての理解をアップデートします。
- 自分が生きる時代に営まれている取り組みの実例を経験することで、知識として知っているだけではその遠大さに無力感さえ覚えかねない課題解決に自分でも関わることができるという効力感をもたらします。
- 「異日常」の経験が合わせ鏡のように作用し、自分の価値観・アイデンティティへの理解を深め、将来にむけた志の種を植えます。



集落のなくさみ文化／徳之島

2021年に世界自然遺産に登録。大陸から切り離された陸島で、希少な固有種が多数生息している。島の中央は丘陵地で、集落は山と海に挟まれているところが多い。

各集落は、農耕に加え、接する海と山の恵みをいただき分け合いながら暮らしてきた。自分たちに今あるものから享受する姿勢が根付き、闘牛や追い込み漁といった独自の文化もそこから生まれた。

自然と人・人と人の共生が成り立っており、出生数が多く長寿の島でもある。

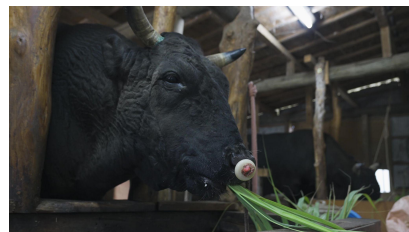
1日目	下久志集落散策・チェックイン 集落の追い込み漁参加 住民の方と浜焼きの夕食交流会
2日目	金見集落（全体が国立公園内）エコツアー 闘牛の世話体験 夜の生き物観察ツアー
3日目	bean to drink／丸ごとコーヒー体験 振り返り・チェックアウト

【獲得経験】

- 自然に内包される人間生活
- あるものを活かし生み出す創造性
- 集落での協働

【key word】 #共生 #里海里山 #知足享受 #共有

【推奨定員】 ～10名



山に十日、海に十日、里に十日／屋久島

日本で初めて世界自然遺産に登録された屋久島。

黒潮のただ中に九州最高峰の宮之浦岳を抱いてそびえ、山肌を駆け上がった水蒸気が多くの雨を降らせる。山に降った雨は川となり海に流れ出るといふ水の循環が非常に身近にあるのが特徴。

多雨なうえ花崗岩質で土壌が薄いため、山を覆う木々は油分を含みながらゆっくり成長し、それが樹齢千年を超す屋久杉を育んできた。近年屋久島の価値を見直し世代を超えて継承しようという動きが地元から生じている。

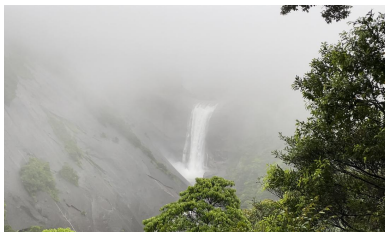
1日目	屋久島水の循環を追う トビウオで巡る島の水産業 ーチェックイン・夕食ー
2日目	屋久島と土イントロダクション 白谷雲水峡トレッキング・登山道修復見学
3日目	武田産業見学 春田浜フリータイム ー振り返り・チェックアウトー

【獲得経験】

- 自然の循環の体験（水、生命）
- 自然再生の現場
- 自然の循環に沿った生産

【key word】 #循環 #継承 #利用と保全 #林業 #漁業
#手入れ

【推奨定員】 ～10名



自然・人との呼応／奄美大島

生物多様性とそれを可能にした人々の暮らし方で世界自然遺産に指定された。島の8割を森林が占め、アマミノクロウサギやケナガネズミなど固有種が多く生息している。

文化的には琉球・薩摩双方の影響を受けているが、基層にはネリヤカナヤ信仰が根付いており、自然への畏怖が祭祀などに受け継がれてきている。身近に迫る旺盛な生命力の自然を畏れつつ、集落（シマ）の住民同士力を合わせて手を尽くし暮らしてきた。

1日目	島の自然の「守護者」訪問 （ハブ、ケンムン伝説） 島唄夕食
2日目	自然観察の森ガイドツアー 大島紬・泥染め見学 ナイトツアー
3日目	秋名集落散策 振り返り・チェックアウト

【獲得経験】

- 自然の生命力
- 自然への畏怖
- 自然と人・人と人の掛け合い

【key word】 #生物多様性 #固有種 #利用と保全 #畏れ
#手を尽くす

【推奨定員】～10名



島ひとつ分の暮らし／沖永良部島

沖永良部島では、島民が自分たちで島の持続可能な将来を考え、生活の中で実践する取り組みが進められてきた。ビーチクリーンはその一例で、住民が自主的に活動を始め、それを行政がゴミ箱設置と集められた海洋ゴミの回収でサポートしている。また最近では島内の未利用資源を活用した循環型の農業・畜産が進められてもいる。2022年には島を構成する2町が揃って脱炭素先行地域に指定された。太陽光や風力など再生可能エネルギーとマイクログリッドの普及により、自律分散型のエネルギー調達も目指されている。

1日目	うじきれい団プレゼンテーション
2日目	ビーチクリーン参加 プラスチック・アップサイクル体験 循環型農業・繁殖農家見学
3日目	ケイビング

【獲得経験】

- 人がつなぐ循環
- 海洋ゴミ問題
- アップサイクル

【key word】 #マイクロプラスチック #脱炭素 #循環型農業 #継続 #ライフスタイル

【推奨定員】 ～10名



南西旅行開発会社概要

- 設立年 1988年
- 所在地 東京都渋谷区渋谷2-8-7 青山宮野ビル2階
- 事業内容 国内旅行事業（主に南西諸島）
地域資源発掘・発信
- 連絡先 ☒ info@south-west.co.jp / ☎ 03-3409-4101
- HP <https://www.south-west.co.jp/>
- 旅行業登録 東京都知事登録 第2-2824
- 登録団体全国旅行業協会正会員

